

自己成長を目的とした場の デザイン(後半) - Web掲示板使用を中心に見た KKJ実践の成果 -

溝上 慎一

(京都大学高等教育教授システム開発センター)

コミュニケーション形態から見た KKJの構造

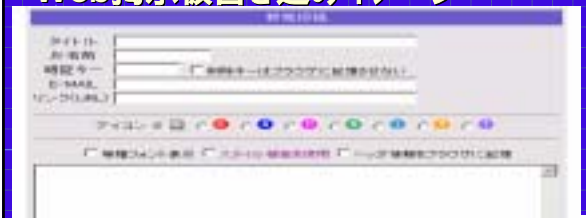
- Communication1. (それぞれの大学の)講義室ゼミ:
face to faceの各大学内コミュニケーション
- Communication2. Web掲示板:
virtualな大学間コミュニケーション
- Communication3. 合同合宿:
face to faceの大学間コミュニケーション

進む

Web掲示板



Web掲示板書き込みイメージ



- 1. [本日は晴天なり。-Aさん](#) 2001年4月21日2時28分
- 2. [Re:本日は晴天なり。-Bさん](#) 2001年4月21日2時42分
- 3. [Re:なるほど -Cさん](#) 2001年4月21日4時29分
- 4. [そうでもない-Cさん](#) 2001年4月25日6時20分

合同合宿・風景1



合同合宿・風景2



合同合宿・風景3



[戻る](#)

授業内容は何？

cf. 1999年度第2回(4/21)

学生A: 僕らが議論するテーマというのは全然決まっていないということですか？

授業者: はい, そうです。

学生A: じゃあ, このまま延々とハンドルネームでいくか実名でいくかを議論していてもいいわけですか？

授業者: そうです(笑)。

授業内容の決定プロセス

(1) 受講動機としてのテーマ

cf. コミュニケーションの問題やリアリティなど

(2) 自己形成的テーマの顕在化

cf. 知識のなさ, 何を学びとするか

コミュニケーション・スキル, 内向性など

Web掲示板の役割(1)

各ゼミ内でのオンライン・オフラインの相互作用を作り出す

Communication1 (ゼミ)
2 (Web)

Web掲示板の役割(2)

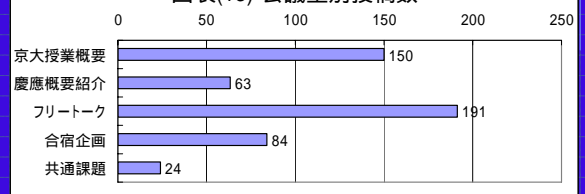
各ゼミ内の進行過程にもう1つの学びの共同体, 慶應・井下ゼミが介入

Communication1 (ゼミ)
2 (Web)

慶應・井下ゼミ(Web)

合同
合宿

図表(13) 会議室別投稿数



尾澤(2000)p.132

Web掲示板の役割(3)

合宿後、各ゼミ内の進行過程にもう1つの学びの共同体、慶應・井下ゼミが**共存**

Communication1 (ゼミ)
2a (Web vs 京大)
2b (Web vs 慶應)

Communication形態から見た授業の展開

Communication1 (ゼミ)
2 (Web)

Web vs 慶應

Communication3 (合宿)

Communication1 (ゼミ)
2a, 2b (Web vs 京大・慶應)

KKJ実践におけるWeb掲示板の特色

インターネットの位置づけ	利用者の目的	利用例	実践例
1 個々の知識や技術を導くための道具	A 情報の共有化	シラバスの公開	各大学総同等
	B 技能の習得	英語力の向上	CALL (京都大学等)
	C 新たな知識の獲得	調べ学習での活用	100校プロジェクト
2 新たな問題や発見を導くための場	D あるテーマに関する理解を深める	授業内容の外化	ReCoNote (中京大学)
	E 自分そのものを深める	新たな問題の発見	KKJ実践

田口 (2000) p.105